

2018 年 1 月 15 日

日本プロテオーム学会 (2015 年～2017 年理事)

2017 年 第二回理事会 議事録

開催日時: 2017 年 7 月 27 日(木) 12:30～13:30

会場: ホテル阪急エキスポパーク・本館 2 階小宴会場「銀杏」

参加予定者(計 21 名) (50 音順, 敬称略)

足立, 植田, 尾野, 梶, 川上, 木下, 木村, 久保田, 小寺, 小松, 榊原, 石濱(代理:杉山), 曾川, 朝長, 長野, 成松, 服部, 本田, 松本, 山本, 横田

1. 報告事項

(1) 会員状況 (2017 年 7 月 22 日現在)

小寺理事より以下の報告があった。

種別	会員数
個人会員、学生会員	個人会員 614 名 (個人会員:470 名, 個人会員(法人登録):144 名) ※ 2014-2016 年度会費未払い者 323 名を除く (昨年:631 名、一昨年:624 名, 本年度新規入会者: 90 名) 学生会員:207 名 ^{※2} (昨年:204 名、一昨年:202 名) (本年度新規入会者:28 名)
企業協賛会員	85 名
法人会員	20 社 (昨年 10 社、一昨年 7 社)
合計	906 名 + 20 社 (昨年:835 名 + 10 社)

- 未払いが多いという課題: 対策として、未払い者にはメールで脱退を通知。学会通信を送らない。最近は学生会員は指導教官名を知らせてもらっている。

(2) 理事会

第 1 回 (1/29 東京) :

第 2 回 (2016. 04. 25 メール理事会) : 法人会員規程の改訂について

第 3 回 (2016. 04. 27 メール理事会) : HUP0 理事推薦に関する投票

第 4 回 (2016. 05. 16 メール理事会) : HUP02016 トラベルアワードについて

(3) JPrOS2017 大会報告(朝長)

(4) JPrOS2018 大会準備状況報告(石濱(代理:杉山))

- 資料 (1)を用いて説明。2018 は質量分析討論会および AOHUPO との合同大会 MSP2018 として開催される。
- 非会員学生価格を設けない。AOHUPO にも学生価格は設けない。
- 演題登録延長をしない。
- 大隅先生にお願い。
- 委員会は 2019 年度の大会運営関係者が入っている。
- 例年よりはスケジュールが早い。理事交代もあるので厄介。
- 現在、混乱のない登録システムになるよう国際文献社と協議中。

(5) 日本プロテオーム学会賞及び各賞の受賞者（朝長）

今回から奨励賞の年齢制限を引き上げて

学会賞(応募者数:1名)

- ◇ 松本 雅記（九州大学・生体防御医学研究所・プロテオミクス分野）
「定量プロテオミクス技術の開発と応用に関する研究」

奨励賞(応募者数:4名)

- ◇ 太田 信哉（高知大学 医学部 生化学講座）
「分裂期クロマチンのプロテオミクス解析」
- ◇ 奥田 修二郎（新潟大学大学院医歯学総合研究科バイオインフォマティクス分野）
「プロテオームデータの統合化とバイオインフォマティクス解析」
- ◇ 鳴海 良平（医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト）
「選択反応モニタリング法を用いたターゲットドプロテオミクスの基盤技術の開発」

(6) KHUPO との交換講演（朝長）

講演者は派遣元学会が推薦する。派遣先学会の負担は参加費のみ（講演者への謝金あり）。JHUPO 側が受け入れる場合は、講演者への謝金の代わりに、航空券、ホテル代を直接負担。（税金の問題。年会ではなく学会が負担）。

- 2010 年 KHUPO 山本 格、木下英司
- 2010 年 JHUPO Ho Jeong Kwon (KHUPO 会長)
- 2011 年 KHUPO 平野 久
- 2011 年 JHUPO Je Kyung Seong (Seoul National Univ), Kang-Sik Park (Kung Hee Univ)
- 2012 年 KHUPO 山田 哲司
- 2012 年 JHUPO Kwang Pyo Kim (Konkuk University)
- 2013 年 KHUPO 朝長 毅
- 2013 年 JHUPO KHUPO7 名の HUPPO2013 によるサポートで対応
- 2014 年 KHUPO 近藤 格 (KHUPO 側からの推薦)
- 2014 年 JHUPO Byoung Chul Park (Korea Res. Inst. of Biosci. & Biotechnol.)
- 2015 年 KHUPO 荒木令江
- 2015 年 JHUPO Bonghee Lee (Gachon University)
- 2016 年 KHUPO 小松節子, 野呂 絵里花
- 2016 年 JHUPO Kwang Pyo Kim
- 2017 年 KHUPO 服部成介, 野村文夫
- 2017 年 JHUPO Cheolju Lee

- 服部先生から、海外からの招待講演が多かったとの報告。

(7) HUPPO, AOHUPPO 活動報告（朝長）

- ◇ HUPPO Congress: 2017/9/17-20 Dublin, 2018/9/30-10/3 Orlando
- ◇ AOHUPPO Congress: 2018/5/15-18 Osaka, Japan, 2020(開催期間、開催地未定)

(8) 学会誌（木下）

- 2号に向けて動いているが、なかなか集まらない状況。
- JSTAGEからの公開が決まった(H30年度よりの予定)。

(9) HUPO, HUPO イニシアチブ活動の報告 C-HPP (山本, 成松, 朝長)

- 腎臓・尿のイニシアチブ:
 - 山本先生はco-chairになる。
 - ダブリンの会議で何をやるかを決めるという状況。
- Glycoproteomics:
 - 成松先生もチェアを交代(誰かに後をついてほしいとの要望)。
 - このままでは日本が引っ張ってきたのが弱くなる。
- CHPP: 石濱先生のコメントを朝長会長が紹介
 ダブリン大会に先立つプレミーティングおよびポストミーティングへの出席依頼がきて、私も含めてそれぞれの染色体代表は、進捗状況及び今後の計画をしゃべることになっています。ヤンキーパイプとギルオーメンがMP50 (missing protein 50) projectというのを設定して、CHPP自体をもう少し加速させようとしているようです。Xチームは川村さんのCh3と協力しながら、jPOSTプロジェクトの一部として、missing protein をjPOST再解析法を使って既存データから、よりたくさん見つける検討を現在行っています。またjPOSTデータベースにMP用のカスタムDBをつくり、アピールしていく予定です。

(9) 学会ウェブページの整備 (小寺)

(10) JPrOS イニシアチブについて

- ◇ プロテオームデータベースイニシアチブ (松本)
 - ◆ 「JST ライフサイエンスデータベース統合推進事業統合化推進プログラム「プロテオーム統合データベースの構築」プロジェクト」
 - jPOST で使っている web 使用料を JPrOS で持つことは可能か? (jPOST の継続性確保のため)
- ◇ 血清・血漿プロテオームイニシアチブ (朝長)
 - ◆ AMED 委託事業 オーダーメイド医療の実現プログラムの研究開発課題「バイオバンクの構築と臨床情報データベース化」の分担研究開発として、「血清・血漿試料の品質評価マーカーの開発と測定法の確立」
 - 血清結晶の QC を取るためのペプチドを見つけることをやっている。
 - 健常者の血漿の安定性評価など。
 - すでに保管されているものの評価に使う。

(11) 各委員長からの活動報告

- ◇ 学術企画活動 (ConBio2017 について) (梶)
 - ConBio2017にJPrOS枠のシンポジウムが決定。比較的大きな部屋。12/9
- ◇ 教育活動 (第6回トレーニングコース報告, 第7回トレーニングコース準備状況) (曾川, 足立)
 - 6/2~6/3に開催 10名募集、11名参加
 - 2回目の講習会は11月を予定(足立)
- ◇ 国際活動 (成松, 小松)
- ◇ 広報活動 (尾野)
 - 学会員を増やすための得策はなかなか出なかった。

(12) 2016 年度主宰・後援・協賛実績（朝長）

【後援・協賛】

- ◇ 2017.3.24 第 14 回北里疾患プロテオーム研究会（日本プロテオーム学会共催，北里大学白金キャンパス 2 号館 2 階 2201 号室）

審議事項

(13) 平成 28 年度収支決算報告（榊原）

【平成 28 年度（2016 年度）会計報告】

収入	8,679,720 円
《 内訳 》	
2016 年度への繰越金	5,214,446 円
個人会員費	720,000 円
法人会員費（13 口）	650,000 円
その他（開催準備金返金）	500,000 円
その他（登録システム利用料）	1,595,000 円
その他（理事会残金）	88 円
利息	186 円

支出	1,976,299 円
《 内訳 》	
理事会開催経費	0 円
Web 運営維持管理費	613,920 円
地域シンポジウム開催経費	0 円
その他（学会賞関連）	20,609 円
その他（JPrOS 関連行事等）	5,862 円
その他（ウェブ会議システム）	183,600 円
その他（学会誌発行）	496,260 円
その他（JPrOS2017 開催準備金）	500,000 円
その他（HUPO トラベルアワード）	150,000 円
振込手数料	6,048 円

予備費（2017 年度への繰越金） 6,703,421 円

平成 28 年度（2016 年度）会計監査報告書

収入	8,679,720 円
支出	1,976,299 円
平成 28 年度へ繰越	6,703,421 円

上記の通り相違ないことを証明致します。

平成 29 年 7 月 7 日

会計監査 久保 一石 印

会計監査 川上 隆雄 印

(14) 平成 29 年度事業案及び予算案 (榊原)

【平成 29 年度事(2017 年度)業案及び予算案】

収入	10,673,621 円
《内訳》	
2016 年度繰越分	6,703,421 円
会員 年会費 (350 口)	700,000 円
法人会員 年会費 (20 口)	1,000,000 円
その他 (開催準備金返金:大会予算より)	500,000 円
その他 (登録システム利用料:大会予算より)*1)	1,620,000 円
その他 (JSTAGE 登録料:大会予算より)	150,000 円
利息	200 円
支出	2,998,520 円
《内訳》	
理事会関連経費	100,000 円
Web 運営維持管理費	120,000 円
Web 改良費	200,000 円
大会用 Web 作成費	500,000 円
Web 会議システム経費	183,600 円
学会賞関連	50,000 円
JPrOS 関連行事	200,000 円
地域シンポジウム開催経費	300,000 円
HUPO トラベルアワード経費	200,000 円
学会誌編集費	484,920 円
JPrOS2018 年大会開催準備金	500,000 円
その他 (JSTAGE 登録料)	150,000 円
振込手数料	10,000 円
予備費 (2018 年度繰越金)	7,675,101 円

(15) 2018 年大会及び 2019 年大会 (朝長)

備考: JHUPO 大会、日本プロテオーム学会年会 (JHUPO 大会) 開催地及び大会長 (朝長)

年	開催地/大会長
2003	第1回 つくば/中西洋志
2004	第2回 東京/戸田年総
2005	第3回 横浜/平野 久
2006	第4回 東京/西村俊秀
2007	第5回 東京/磯邊俊明
2008	第6回 大阪/高尾敏文
2009	第7回 東京/前田忠計
2010	第8回 千葉/山田哲司
2011	第9回 新潟/山本 格
2012	第10回 東京/高橋信弘
2013	第11回 (HUPOと合同) 横浜/平野 久
2014	第12回 つくば/成松 久
2015	第13回 熊本/荒木令江

2016	第14回 東京／服部成介
2017	第15回 大阪／朝長 毅 7/26-28, ホテル阪急エキスポパーク
2018	第16回 大阪／石濱 泰 (第66回質量分析総合討論会(日本質量分析学会の年次大会)と第9回AOHUPOとの合同大会) 2018.5.15-18, ホテル阪急エキスポパーク
2019	第17回 宮崎／榊原陽一, 松本雅記, 大槻純男

(16) HUPOトラベルアワード (朝長)

◇ HUPOトラベルアワード (JPrOS)

津曲和哉(京都大学)

- 応募者1名だった。
- 追加公募すべき。

(17) 納税について (小寺)

- 収入が1000万以上だと納税義務がある。
- 繰越し金は？

(18) その他

JSTAGE について

- 昨年 of 要旨 of JSTAGE 登録が遅れている。
- すでにpdfはあるのであとは登録するだけ。